



編集後記

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-04-06 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 森岡, 次郎 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10466/15808

編集後記

『人間社会学研究集録』第13号をお届けいたします。今号には9本の研究論文が掲載されました。

今号の編集にあたっては、編集委員が何度も集まり、本誌における査読の在り方や編集方針について、議論を重ねてきました。まだまだ「十分な体制が整った」とは言い切れませんが、できるかぎり公平・公正な審査が行われるように、今後とも検討を続けていきたいと思えます。

『人間社会学研究集録』という雑誌は、本研究科の大学院生にとってどのような位置づけであるのか。本誌が教育的な役割を果たすために、どのような査読が行われるべきか。査読者は掲載される論文の質を、どの程度まで要求すべきか。

こうした問いに対しては、多様な問題関心や研究背景、学術的ディシプリンを有する教員や院生が集まる本研究科では、一律・一概に基準を定めることは困難ですが、編集委員会として共有できる指針について、検討しています。

一律の基準を設定することが困難だからこそ、大学院生のみならずには、まずは指導教員・副指導教員の先生方とよく相談し、論文の内容や論証プロセスのみならず、書式や体裁なども整えた上で、各研究領域における完成度の高い原稿をご投稿ください。とりわけ留学生は日本語での論文執筆に苦労されていると思います。しっかりとネイティブチェックを受け、日本語による論文執筆の練習の機会としてください。

今回、掲載に至らなかったもののなかにも、十分な努力の形跡が見られるもの、資料的な価値が認められるものがありました。そのため、次号より「研究ノート」という原稿種を新設することになりました。先行研究の丁寧なレビューや調査研究によるデータなど、研究論文としての独創性とは異なる学術的価値があるものについては、「研究ノート」として投稿していただければと思います。

ご多忙の折、査読の労を執られた先生方には、あらためてお礼申し上げます。今号に掲載された各論文の執筆者からは、修正稿とともに、査読者に対する感謝の言葉も数多く届いていたことを、ここに付言いたします。

また、例年どおりに今号も、英文のチェックをご快諾いただいたスコウラップ先生には、厚くお礼申し上げます。

(文責 森岡次郎)